2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月５日

上場会社名　　株式会社ドリームインキュベータ　　上場取引所　東
コード番号　　4310　　ＵＲＬ　https://www.dreamincubator.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）三宅　孝之
問合せ先責任者　（役職名）経営管理グループ長　　（氏名）岩佐　将誠　　ＴＥＬ　03(5532)3200
半期報告書提出予定日　　2026年11月11日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	3,730	1.0	565	△26.4	672	△17.8	678	△7.8
2026年３月期中間期	3,693	30.2	767	－	818	－	735	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　519百万円（△25.6%）　2026年３月期中間期　698百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	77.38	－
2026年３月期中間期	83.59	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	13,462	11,103	81.2
2026年３月期	15,633	11,738	74.0

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　10,928百万円　2026年３月期　11,568百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	0.00	0.00	0.00	137.00	137.00
2027年３月期	0.00	0.00			
2027年３月期（予想）			0.00	137.00	137.00

直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社グループのセグメントは、ビジネスプロデュース及びベンチャー投資から構成されております。ビジネスプロデュースは比較的将来の予測が立ちやすい一方、ベンチャー投資につきましては売上高の多くが株式市場における株式売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴って振幅します。従いまして、現時点において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、開示を控えさせていただいております。

なお、現時点で将来の業績を予想するのに有用と思われる情報を、添付資料２ページ「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しておりますので、ご参照下さい。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	9,534,316株	2026年３月期	9,534,316株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	728,035株	2026年３月期	795,616株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	8,767,811株	2026年３月期中間期	8,804,145株

（注）当社は、「役員報酬ＢＩＰ信託」及び「株式付与ＥＳＯＰ信託」を導入しております。ＢＩＰ信託口及びＥＳＯＰ信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料２ページ「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… ２
（１）経営成績に関する説明 …… ２
（２）財政状態に関する説明 …… ２
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… ２
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… ３
（１）中間連結貸借対照表 …… ３
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… ５
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… ７
（継続企業の前提に関する注記） …… ７
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… ７
（セグメント情報等の注記） …… ７

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当社及び当社グループの当中間連結会計期間における経営成績は、売上高は3,730百万円（前年同期は3,693百万円）、経常利益は672百万円（前年同期は818百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益は678百万円（前年同期は735百万円）となりました。

当中間連結会計期間における報告セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

（ビジネスプロデュースセグメント）

ビジネスプロデュースセグメントでは、主に大企業向けに、事業創造や企業変革をはじめとする顧客の様々な経営課題の解決を支援しております。近年は、事業創造支援の高度化や収益モデルの進化を図るとともに、戦略立案から企業変革・業務改革及びAI/デジタル実装まで支援領域を拡大し、収益機会の最大化に取り組んでおります。

企業変革やDX需要といったクライアントニーズの高まりを背景に、既存顧客からの継続受注が堅調に推移しており、売上高の伸長は業容拡大に伴う費用増加を上回る結果となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は3,483百万円（前年同期は2,898百万円）、セグメント利益は976百万円（前年同期は879百万円）となりました。

（ベンチャー投資セグメント）

ベンチャー投資セグメントにおいては、スタートアップ企業向け投資等に係る資産の管理・回収を行っております。

当中間連結会計期間においては、インド投資先のIPOに伴い保有株式の一部売却によるキャピタルゲインの実現があり、さらに出資先ファンドの収益計上と評価損計上がありました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は246百万円（前年同期は795百万円）、セグメント利益は146百万円（前年同期は459百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

連結貸借対照表

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の15,633百万円に対して2,171百万円減少し、13,462百万円となりました。これは主として、有価証券（合同運用指定金銭信託）が減少したことと、配当金の支出により現金及び預金が減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末の3,895百万円に対して1,536百万円減少し、2,358百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末の11,738百万円に対して634百万円減少し、11,103百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

（ビジネスプロデュースセグメント）

ビジネスプロデュースセグメントにおいては、引き続き４つのビジネスプロデュース領域を着実に推進するとともに、AIの進化を踏まえた採用・育成の強化に取り組み、高収益性を継続創出する体制の構築を図っていきます。これらの取り組みを受けて、ビジネスプロデュースセグメントの売上高は2027年３月期に75億円を見通しており、2030年３月期まで年平均15%の成長を目指します。詳細については決算説明資料もあわせてご参照ください。

（ベンチャー投資セグメント）

ベンチャー投資セグメントにおいては、業績が株式市況等に伴い振幅することから、将来業績の予想は開示しておりません。なお、ベンチャー投資は含み益を抱えており、引き続き適切なタイミングでの回収を進めてまいります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,967	3,521
受取手形、売掛金及び契約資産	1,732	1,620
営業投資有価証券	2,905	2,587
有価証券	5,995	4,497
投資損失引当金	△103	△103
その他	651	650
貸倒引当金	△29	－
流動資産合計	15,120	12,773
固定資産		
有形固定資産	241	212
無形固定資産		
その他	2	6
無形固定資産合計	2	6
投資その他の資産		
投資有価証券	65	164
繰延税金資産	－	56
その他	202	247
投資その他の資産合計	267	468
固定資産合計	512	688
資産合計	15,633	13,462

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	309	31
株主優待引当金	35	5
役員賞与引当金	165	－
その他	1,945	1,033
流動負債合計	2,455	1,070
固定負債		
繰延税金負債	202	110
株式給付引当金	1,232	1,172
その他	3	5
固定負債合計	1,439	1,287
負債合計	3,895	2,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,019	5,019
資本剰余金	2,007	2,007
利益剰余金	5,318	4,690
自己株式	△1,638	△1,493
株主資本合計	10,706	10,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	875	718
為替換算調整勘定	△13	△15
その他の包括利益累計額合計	861	703
非支配株主持分	169	175
純資産合計	11,738	11,103
負債純資産合計	15,633	13,462

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,693	3,730
売上原価	1,709	2,036
売上総利益	1,983	1,693
販売費及び一般管理費	1,216	1,128
営業利益	767	565
営業外収益		
受取利息	20	36
補助金収入	29	74
その他	1	4
営業外収益合計	51	114
営業外費用		
為替差損	0	7
その他	0	0
営業外費用合計	0	7
経常利益	818	672
税金等調整前中間純利益	818	672
法人税、住民税及び事業税	126	5
法人税等調整額	△44	△14
法人税等合計	82	△8
中間純利益	735	680
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△0	2
親会社株主に帰属する中間純利益	735	678

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	735	680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	△158
為替換算調整勘定	△13	△2
その他の包括利益合計	△37	△160
中間包括利益	698	519
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	701	520
非支配株主に係る中間包括利益	△2	△0

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額（注１）	中間連結損益計算書計上額（注２）
	ビジネスプロデュース	ベンチャー投資	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,898	795	3,693	3,693	－	3,693
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	2,898	795	3,693	3,693	－	3,693
セグメント利益	879	459	1,339	1,339	△571	767

（注）１　セグメント利益の調整額△571百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない中間連結財務諸表提出会社での営業活動に関わる費用及び一般管理費用であります。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額（注１）	中間連結損益計算書計上額（注２）
	ビジネスプロデュース	ベンチャー投資	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,483	246	3,730	3,730	－	3,730
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	3,483	246	3,730	3,730	－	3,730
セグメント利益	976	146	1,123	1,123	△558	565

（注）１　セグメント利益の調整額△558百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない中間連結財務諸表提出会社での営業活動に関わる費用及び一般管理費用であります。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。